

# 各課からのHOT LINE

## 会計課 義援金専用口座を開設 善意をお寄せください

市は、東北地方太平洋沖地震被災者の義援金受け付け専用口座を開設しました。

- 岩手銀行平舘支店 普通 2043429
- 北日本銀行平舘支店 普通 7040775
- 盛岡信用金庫西根支店 普通 0279231
- 新岩手農協西根中央支所 普通 0018889
- 口座名義人 「東北地方太平洋沖地震災害義援金 八幡平市会計管理者」

窓口振込手数料は無料です。なお、振込書の控えを領収書に代えさせていただきます。

詳しくは、市役所会計課（☎・内線1111）まで。

## 福祉部 児童福祉課 ことし9月分まで 子ども手当を支給

子ども手当が、ことし9月分まで引き続き支給されます。9月分までの支給対象者や金額の変更はありません。また、これまで子ども手当を受給していた人は、申請手続きは不要です。

なお、10月分以降は決まり次第お知らせします。

- 対象者 4月2日現在、中学校修了前の子ども
- 支給額 月額13,000円（子ども1人につき）
- 支給月 2～5月分は6月、6～9月分は10月

詳しくは、市役所児童福祉課児童福祉係（☎・内線1176）まで。

## 市民部 市民課 愛犬の登録と予防注射 忘れずに受けましょう

狂犬病は、発症すると治療の手立てがなく、海外では毎年多くの方が亡くなっています。狂犬病の発生を防ぐため、日本では、飼い犬の登録と、年1回の予防注射が義務付けられています。家族と愛犬を守るためにも、必ず実施してください。

本年度も市内を巡回しての狂犬病予防注射を行います。登録済みの場合は、後日送付するハガキを持参ください。未登録の場合は、会場での登録も可能です。お近くの会場にお越しください。

- 西根地区 5月23日(月)～27日(金)、30日(月)
- 松尾地区 6月1日(水)～3日(金)
- 安代地区 6月6日(月)～8日(水)
- 休日実施 5月29日(日)、6月11日(土)

詳しい時間や場所は、広報と一緒に配布するチラシでご確認ください。

詳しくは、市役所市民課環境衛生係（☎・内線1137）まで。

## 産業部 農政課 6次産業化を支援する 事業費補助を行います

市は、市内で生産される農林畜産物の商品開発、加工、販売までの一体とした取り組みである6次産業化を推進し、支援することを目的に、事業の一部補助を行います。

この事業は、農林業所得の向上を目指すもので、対象者、対象事業、補助額などは次のとおりです。

- 対象者 農業法人、地域営農団体、産直組合、個人など
- 補助対象事業 施設整備費（加工用施設建設費、加工用設備購入費など）
- 補助額 事業費の2分の1以内（上限50万円）
- 申請期限 5月20日(金)

市の単独事業で予算に限りがあるので、お早めにご相談ください。なお、対象とならない場合や、希望の実施時期が遅れることがあります。

詳しくは、市役所農政課農政係（☎・内線1701）まで。

## 企画総務部 地域振興課 通学定期券購入に 市が助成をします

市は、通学定期券購入費の一部を補助します。

- 対象交通機関 JR東日本(株)、IGRいわて銀河鉄道(株)、岩手県交通(株)、岩手県北自動車(株)、秋北バス(株)、JRバス東北(株)運行の鉄道と路線バス
- 対象者 市内に住所があり、現に市内に居住し、通学定期券利用の小・中学生や高校生の保護者
- 補助額 通学定期券購入費の100分の7（7割）の金額（10円未満切り捨て）
- 申請方法 市の担当窓口（各総合支所地域振興課）と、大更駅で申請書を交付しています。

通学定期券を購入する時、期限切れまたは現在使用中の定期券を定期販売窓口で提示し、購入証明を受け、市の担当窓口へ提出ください。購入証明は、利用交通機関ごとに受けてください。

■申込期限 定期券期間終了日に応じ次のとおり

申込期限	定期券期間終了日(定期券が切れる日)
7月11日(月)	4月1日～6月30日
10月11日(木)	7月1日～9月30日
24年1月10日(木)	10月1日～12月31日
24年4月10日(木)	24年1月1日～3月31日

- 問い合わせ・申請先 各総合支所地域振興課
- 西根地区 ☎76-2111・内線1122
- 松尾地区 ☎74-2111・内線2107
- 安代地区 ☎72-2111・内線3123

片山総務大臣（写真①右）、谷垣自民党総裁（写真②右端）などに、田村市長らが現状を訴えたほか、武田副市長や瀬川議長が沿岸市町村を訪れ、戸田公明大船渡市長（写真③右）などに支援を申し出ました



東日本大震災被災者に対する支援の輪が広がっています。市が支援米の提供を市民に呼び掛けたところ、815の個人や団体から合計11.6トンの支援米が寄せられたほか、(株)ニュートンとその関連団体の30万円をはじめ、義援金も寄せられています。

市は、これまでに姉妹都市の宮古市をはじめ、被災した県内外の沿岸市町村に食料品や毛布などの救援物資提供や、延べ100人を超える職員を派遣するなど、東日本大震災で被害を受けた自治体の支援に当たっています。

4月6、7の両日には、田村正彦市長が、奥山恵美子仙台市長や鹿内博青森市長とともに、東

北市長会を代表して上京。片山義博総務大臣、仙石由人民民主党代表代行、自民党の谷垣禎一総裁や大島理森副総裁など政府や党の要人に、被災地の現状や、後方支援に当たっている内陸自治体の現状を訴えました。

また、4月13日には、陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町に支援米各2トンを届けたほか、武田常德副市長と瀬川健則議長が被災市町村を訪問。支援物資などの提供とともに、「被災者の皆さんに、本市の温泉で疲れを癒やしてください。希望者には、市で無料送迎バスを運行します」と、官民協働の支援を申し出ました。



87,165円の義援金を手渡す平舘小学校児童会の皆さん(3月25日)



七時雨口マンの会が気仙沼市の避難所に支援物資提供(3月23日)



市商工会やハチマンタイヤが募金活動(4月10日、道の駅にしね)



安比民宿修学旅行受入隊とあしるそば道場の皆さんが炊き出し準備(3月31日)



皆さんから寄せられた支援米が被災地に届けられました(4月13日)



八幡平観光協力宿の会・若者風の皆さんが支援を申し出(3月30日)



大更野球スポーツ少年団が募金活動(4月3日、ユニバース西根店)



前日準備した750食の手打ちそばと餅を炊き出し(4月1日、山田町)



株式会社高津ダイス製作所から義援金1万円(3月22日)



岩屋自治会から義援金20万円が手渡されました(3月25日)



市建設協同組合から、被災者支援目的で市に100万円寄付(3月30日)



北岩手衛生センターから義援金3万円が寄せられました(3月16日)